鎌倉つれづれ ⑭

オオスズメバチ

池田正弘

今年はスズメバチの被害が新聞・テレビでニュースとして数多く取り上げられている。この2、3年はスズメバチがめっきり数を減らして街中で巣を見かけることが少なかった。当欄8月号でニホンミツバチの復活を報告したが予想どおりにスズメバチも復活を果たした。ニホンミツバチは狩りバチであるスズメバチの貴重な食料で両者の群れの盛衰は正比例する。

ミツバチを初めて飼いはじめた頃、セイヨウミツバチを分けてくれた養蜂家は秋になるとスズメバチの襲来があるから注意すること、午前10時頃に偵察にやってきたスズメバチを駆除するとその日は襲ってこないと教わった。

ところが鎌倉ではそうはいかない。確かに朝10時頃にスズメバチが2、3頭やってくる。それを捕獲してもすぐに次の偵察隊が現れる。スズメバチの棲息密度が異常に濃いとしか思えない。

鎌倉でよく見かけるスズメバチにはオオスズメバチ、キイロスズメバチ、コガタスズメバチがある。

体長4㎝のオオスズメバチ

オオスズメバチは地中に巣を作る。切り通しや谷戸が多く崖の上で根の浮いた古木の下は格好の営巣地となる。

キイロスズメバチは天井裏や軒下に巣を作る。社寺の古い建物は隙間が多く侵入しやすい、また軒の深い建物の庇は雨風がしのげて最高の場所となる。

コガタスズメバチは良く繁った木の枝に巣を架ける。剪定された生垣がお気に入りである。スズメバチたちにとって鎌倉ほど住みやすいところはない。

スズメバチの仲間は晩秋に来春の女王蜂を羽化させ一斉に巣を離れ越冬する場所探しに出掛ける。その女王蜂を育てる時期に最も活動を活発化させる。秋も深まり多くの昆虫たちがいなくなるとミツバチの巣箱を毎日のように襲う。

大きさ比較　ニホンミツバチとオオスズメバチ

キイロスズメバチはミツバチの巣箱の前で待ち受け蜜を採取して動きが遅くなったミツバチを捕まえて近くの木の枝で肉団子にして幼虫の食料にする。キイロスズメバチに襲われてもこの時期にも巣箱の中には2、3万頭のミツバチは居るので群れが全滅することはない。しかしオオスズメバチに襲われるとひとたまりもなく全滅する。オオスズメバチは数十頭でミツバチを襲う。たった一日で数万頭の群れが全滅することもある。

ニホンミツバチはスズメバチに対抗できると言われているが正確ではない。ニホンミツバチはスズメバチが入り込めない細い隙間の奥を探して巣を作るがオオスズメバチに巣の中に侵入されるとやはり全滅する。被害は、一方は全滅でオオスズメバチの犠牲は十数頭に過ぎない。鎌倉でセイヨウ、ニホンを問わず蜂の飼育は中々に至難の業である。

スズメバチは肉団子を幼虫に与え、幼虫が出す分泌液を栄養源に一日百キロメートルを飛ぶと言われている。この分泌液がスズメバチアミノ酸と云われアスリートといわれている人達が常用していて高価な栄養剤である。その為、スズメバチ駆除のプロは後の利用を考えて殺虫剤を使わない。

鎌倉といえば・・・
鳩サブレー
豊島屋
http://www.hato.co.jp

女性消防団員も活躍

第1回葉山消防操法大会

一般町民が団員として活躍する消防団の技術向上を目的に、葉山町の6つの分団がポンプ車操法を点数方式で競う初めての大会「第1回葉山町消防操法大会」が10月2日町役場駐車場で開催された＝写真。

7月に行われた県の消防操法大会でポンプ車の部の優秀賞を受賞した第4分団(一色)など各分団から合計約50人の団員が出場。5人1組で消防ホースの延長、接続、筒先の結合、放水などを所要時間、迅速性、確実な動作、チームワーク等を採点基準に、県大会に準じた方式で競い合った。約2百人が見守る中、第3分団(下山口)が151・5点で優勝した。

同分団の森谷茜さん(34)は、幼稚園勤務の傍ら活躍する町内唯一の女性団員。今年初めて採用となった町の女性消防士3人とともに救命救急法のデモンストレーションを行った。「きっかけは消防団員だった父の影響。飛び込めば女性でもできることがある」と話し、男性に引けを取らない力強い動きで注目を集めた。

消防団員は非常勤特別職の地方公務員。町内在勤・在住の18歳以上の健康な人であれば誰でも入団できる。全体の団員数は約180人。自営業や一般企業に勤務しながら兼務する人が約8割を占めている。(K)

観光案内所サービス拡充

鎌倉駅前に外貨両替機も

鎌倉市観光総合案内所がJR鎌倉駅東口みどりの窓口横へ移転し、業務を開始するにあたり、10月1日、鎌倉市長、観光協会会長、JR駅長らによるテープカットが行われた＝写真。

外国人観光客の増加にどう対応していくかを市とJRが協議してリニューアルを決めた。

主な拡充点としては、デジタルサイネージによる観光情報を提供し、タブレット端末2台を設置し、自由に検索に使用できるようにしている。英語やロシア語など7カ国語に対応する案内所職員が交代制で勤務している。開所時間をこれまでより2時間延長し、午前9時～午後7時とした。

みどりの窓口そばのATM機設置場には外貨両替機も導入されている。

2000人目の赤ちゃん誕生！

鎌倉市医師会立産科診療所

鎌倉市医師会立産科診療所「ティアラかまくら」(市内小町・高山照雄所長)で、満月の夜の10月16日の未明、2千人目の赤ちゃんが誕生。20日は「鯛の塩釜焼」付の祝い膳が用意された。

藤沢市在住の土橋美咲さん(27)と英泰(ひでやす)さん(27)夫妻の里帰り出産で、生まれたのは第一子で男の子。直弘(なおひろ)くんと命名された＝写真。夫妻は「元気にのびのびと育ち、心の広い子になってほしい」と話している。

同診療所は「市内で分娩できる施設がほしい」との要望を受けて、2009年2月に鎌倉市の援助のもと鎌倉市医師会により設立された旧鎌倉市内唯一の分娩施設。

妊娠から産褥までの全期間を通した助産師の妊婦と家族への細かい対応を心がけ、安全で快適なお産―子育てを目指し、鎌倉市民はもとより、市民以外の利用も多い。母親や家族に向けての講座を随時開催していて誰でも参加できる。

2014年4月からは婦人科領域にも対応しており、市の子宮がん検診もここで受けられる。

問い合わせ☎0467・61・0311

【寄稿】俳句事業に10万円寄付

百周年の鎌倉同人会

鎌倉同人会理事　松岡洋太郎

「鎌倉同人会」は、昨年百周年を迎えた由緒ある市民団体であるが、このたびその文化推進事業として「鎌倉市芸術文化振興財団」に事務局を置く「鎌倉俳句＆ハイク」実行委員会に、鎌倉市内19カ所に設置されている俳句ポストの補修援助金として寄付を行った。

その贈呈式が秋晴れに恵まれた10月18日、鎌倉文学館前庭で行われ、富岡幸一郎同人会理事長から森田晃輔財団理事長に寄付金10万円が贈呈された＝写真。

「鎌倉俳句＆ハイク」は2004年に開設され、俳句ポストに投函された作品を季節毎に年4回集めて入選作を決めている。投句数は年間約1万句に及び、児童からも投稿があり、観光客が鎌倉に訪れる楽しみにもなっている。高浜虚子の孫星野椿氏、曽孫星野高士氏の選者による年間大賞などの表彰式は、毎年5月の鎌倉の文化事業として定着している。

終の棲み家を考える ㉛

基礎について

住宅の基礎の歴史を見ると、点から帯そして面に変わってきている事が分かります。昔の神社やお寺それに大きな屋敷等の基礎は独立基礎と呼ばれる作りで、柱が立つ部分の下を集中的に固め大きな石を据えその上に柱を建てたもので、現在まで狂う事無く建っている物も数多くあります。

その後、布基礎と呼ばれる作り方に変わり、固くした土の上に石を並べ、その上に土台という材木を敷き、その上に柱を立てました。この方法を改良して、石の代わりにコンクリートを使い、更に鉄筋を入れて強さを増しました。これはほんの十数年ほど前まで主流で採用されていました。

現在は、建物が経つ殆ど全ての床下を鉄筋コンクリートで固める、ベタ基礎と呼ばれる方法に変わってきています。この方法の良さは、建物を点や帯で支えるのでは無く、面で支える事にあります。地盤を固く強くして、基礎を面にする事で丈夫な土台になる訳です。

鉄筋の組み方にも決まりがあり、太さや本数も基準があります。打ち込むコンクリートの強度も打設方法も決まりがあります。湿気を避け・地質調査をし・地盤改良をして・ベタ基礎にする事でやっと建物を支える準備が整い、100年住宅が見えてくるのです。

■日向建設　鎌倉市大船1―15―3
☎0467・47・5454　http://www.hyuga.co.jp

明治37年創立
学校法人　鎌倉女学院
中学校・高等学校
心身ともに健康で
国際性豊かな人間教育
〒248-0014 鎌倉市由比ガ浜2丁目10番4号
電話(0467)25-2100(代表)